

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年4月21日(火) 18時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月17日(金)～21日(火)

- 21日(火) 17時現在、州内の感染者数は前日比805人増の1万5385人で、うちサンパウロ市が1万342人、グアルーリョス市が330人、サントス市が322人と続く。死者数は同56人増の1093人と15日間で約3倍に増加した。感染が確認されたのは市内239市、死者は97市と拡大傾向が続く。集中治療室と一般病棟を合わせた入院患者数も約6千人と大幅に増加している。
- 21日(火)、サンパウロ州政府は20日(月)の州内の社会的距離の実施率を51%と発表。
- 18日(土)、サンパウロ州政府はブタンタン研究所が韓国から購入した新型コロナウイルスの検査キット57万5千個が同日朝方、ヴィラコポス空港(カンピーナス市)に到着したと発表。第一便として14日(火)に韓国から到着していた72万5千個と合わせると130万個。購入額は8500万レアル。
- 17日(金)、サンパウロ州政府は同州内陸地域の感染状況がサンパウロ市やカンピーナス市、ソロカバ市、サントス沿岸地域の3週間程前の状況に似ているとして、今後の感染拡大への警戒を呼び掛け。
- 17日(金)、サンパウロ州政府は州内のスタートアップ企業 Nanox がプラスチックメーカー Elka Plásticos と協力し、再利用可能な高性能マスクを開発したと発表。同マスクはゴムに似た柔軟なポリマーで作られ、顔の輪郭に合わせて成形可能。表面にシリカと銀をベースにした微粒子が組み込まれている。
- 21日(火) 18時現在、サンパウロ市内の仮設病院の入院患者数は、前日比9人増の計240人。
- 20日(月)、サンパウロ市は姉妹都市の上海市からマスク5万枚の寄付を受けたと発表。18日(土)にヴィラコポス空港に到着、22日(水)までにサンパウロ市に届く予定。今後、市内の公立病院で活用する。
- 18日(土)、サンパウロ市は新型コロナウイルス感染患者や疑い者の受入れを拡充するため、ベラ・ヴィスタ市立病院を新たな対応病院として指定。主に市中心部に集中している路上生活者の感染対応を図る。
- 18日(土)、サンパウロ市は外出自粛措置期間中(クアレンテーナ)の商業活動や人の動きを監視するため、市中心部や東部を中心に3月20日(金)よりドローンを使ったパトロールを展開していると発表。
- 18日(土)、サンパウロ市は4月7日(火)に始めた社会連帯プログラム「Cidade Solidária」の一環として、食料や衛生用品のほか、路上生活者と暮らす犬などに向けたエサの寄付も募集すると発表。なお、同市は20日(火)、犬の散歩は必要な場合を除いて避けるべきとした上で、散歩時の留意点を発信。

2 マット・グロッソ州

4月19日(日)～21日(火)

- 21日(火) 17時現在、州内の感染者数は前日比同の181人、うち州都クイアバ市が96人。入院患者数は13人。死者は20日(月)朝方にバラ・ド・ガルサス市(州都クイアバ市から東に約550キロ)で6人目が確認された。亡くなったのはトラック運転手の54歳男性。17日(金)に陽性が確認されていた。
- 19日(日)、クイアバ市は中国製の新型コロナウイルス迅速簡易検査キット3万個を入手予定と発表。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

4月19日(日)～21日(火)

- 21日(火) 午前11時現在、州内の感染者数は前日比2人増の173人、うち州都カンポ・グランデ市が90人。入院患者数は21人。死者は21日(火)午前にトレス・ラゴアス市で6人目が確認された。亡くなったのは89歳男性で高血圧と糖尿病を患っていた。同市での死者は2人目。
- 19日(日)、同州政府は州内大手企業(Suzano・BRF)が社員を解雇せず今後60日間給与を保障と発表
- 21日(火)、同州政府はカンポ・グランデ市内のショッピングセンター3か所の営業再開に関する市条例の公布に合わせ、同センター内にある州交通局(Detran-MS)の窓口も人数制限等で業務を再開と発表。(了)